

## 古瀬ガバナー公式訪問例会報告書

会長・幹事懇談会は、11:00より古瀬ガバナー、岸代表幹事、佐々木会長、尾木幹事、松本副会長、羽柴副幹事、松本パストガバナーにも出席して頂きました。

古瀬ガバナー、岸代表幹事より2019-20年度の地区目標に関しての最重点目標と重点目標をまとめた書類を頂き、それをもとに会議を行いました。

古瀬ガバナーからは、別項目でのお話で、2020年の10月でロータリー100周年となるので記念のピンバッジを全員で揃えて欲しいとの要望、2020年6月6日～10日のロータリー国際大会への出席の要望が有り、特に7日の閉会式を見て欲しいとお話がありました。

6月14日の地区ライラでは「ドローン」の実演をしますので、青少年 インターアクト、ローターアクトのみならず高校生、小学生、お孫さんでも大丈夫なので参加して欲しいとの要望がありました。

その後、当クラブの活動等について質問と助言を頂きました。その1つに、国際奉仕委員会の行ったネパールの公立小中学校への本を寄贈する事業の実施については、地区世界社会奉仕委員会(DWCS)資金があり、地区のグローバル補助金と違い地区の裁量で使える資金がある事を教えて頂きました。

新入会員や全会員に呼びかけ、「ロータリー勉強会」を開催し、ロータリーを理解してもらい退会防止にも役立てている事、「39会」という夜間の懇親会を行い、会員の親睦や新入会員の勧誘を行っている事、地域交流委員会で地区補助金事業を使っているプロジェクト「ふるさとの支援事業」で講演会や体重計・身長計・血圧計を贈り自分のBMI値を知り、健康管理に意識を持って頂く様に活動をしている事等を報告させて頂いた会長幹事懇談会でした。

例会では、ガバナーの略歴、ロータリー歴を紹介させて頂いた後、「ガバナースピーチ」国際協議会についてパワーポイントで説明して頂きました。

終わりに岸代表幹事より地区大会の案内をDVDを使った説明を頂き、13:30に終了致しました。

ロータリー100周年の第2690地区のゴングを持参して頂き、開会と閉会に点鐘させて頂きました。

和やかな中にも緊張感のある、思い出深い例会となりました事をご報告させて頂きます。

益田西ロータリークラブ  
会長 佐々木 真孝